

令和5年度

学校評価報告書

(自己評価・学校関係者評価)

令和6年3月14日(木)

沖縄県立中部商業高等学校

一 令和5年度学校評価の目的及び実施方法

1 目的

この要項は県立学校管理規則第63条、学校評価実施要項(平成14年3月26日県立学校教育課長決裁)及び本校学校評価実施計画に基づき、教育活動全般にわたって、総合的・客観的・具体的に評価し、成果と課題等を明確にして教育目標を達成するために行う。

2 基本方針

- (1) 本校生徒、保護者、教職員、学校評議員に対して学校評価アンケートを実施する。
- (2) 学校評価(自己評価)結果について、学校評議員会で報告する。
- (3) 学校評価(自己評価)結果を本校Webページに掲載する。

3 実施概要

- (1) 対象 本校生徒、保護者、教職員、学校評議員

- (2) 質問項目

- ①生徒アンケート

- ・学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全の6項目
- ・5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・Forms による回答(LHR等を活用)

- ②保護者アンケート

- ・学校運営、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携の7項目
- ・5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・依頼文書及びアンケート用紙の配布
- ・Forms 及びアンケート用紙による回答

- ③教職員アンケート

- ・学校運営、教科指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携、服務研修・衛生管理の8項目
- ・5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・Forms による回答

- ④学校評議員アンケート

- ・学校運営、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携の7項目
- ・5段階評価「5 満足している」「4 ほぼ満足している」「3 どちらともいえない」「2 あまり満足していない」「1 不満である」
- ・アンケート用紙による回答

二 令和5年度学校評価実施計画

1 評価の種別

(1) 自己評価

教職員アンケート及びその他の評価資料に基づき評価する。
教職員アンケートは以下の資料を参照し、全職員に実施する
・学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等の評価資料

(2) 学校関係者評価

自己評価及びその他の評価資料をもとに評価する。

2 日程

1/17 (水) ~ 1/31 (水)	生徒・保護者・教職員へ実施
2/19 (月)	学校評議員会で結果報告
3/14 (木)	第3回PTA評議委員会
3/15 (金)	県教育庁へ報告
3/29 (金)	学校Webページへ掲載

3 各評価の実施方法

(1) 自己評価

①重点取組事項(8項目)について、それぞれ評価項目(合計29問)を設定し、職員アンケート及びその他(学業成績状況や進路状況、生徒指導状況等)の評価資料に基づき評価を行う。

②評価基準を以下の5段階で行う。

5: 満足している 4: ほぼ満足している 3: どちらともいえない
2: あまり満足していない 1: 不満である

(2) 学校関係者評価

①自己評価及びその他の評価資料等から重点取組事項(8項目)別に5段階で評価する。

三 学校評価（自己評価）

1 自己評価（アンケート結果考察）

【対象】 本校生徒、保護者、教職員、学校評議員

【質問項目】 学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携

【評価法】 「5：満足している」「4：ほぼ満足している」「3：どちらともいえない」

「2：あまり満足していない」「1：不満である」

【評価判断基準】 A：4.0以上（良好である。十分目標を達成した）

B：3.0以上～4.0未満（概ね良好。概ね目標を達成した）

C：2.0以上～3.0未満（改善が必要。目標達成が不十分である）

D：2.0未満（改善が急務。目標達成がきわめて不十分である）

【生徒アンケート】

(1) 学校生活

学校生活4項目において設問4がC評価になっているが、否定的な回答(1～2)が61.7%(昨年66.9%)となっている。(表1)

【表1】

学校生活	1	学校は楽しい。	3.7	24.1%	37.8%	28.6%	6.3%	3.3%	B
	2	各学科の行事や学校行事が充実している。	3.7	22.7%	21.1%	34.1%	15.1%	9.8%	B
	3	学校の施設・設備は、学習しやすいよう整備されている。	3.5	18.0%	31.6%	34.9%	9.8%	5.7%	B
	4	学校の教室やトイレなど校内がきれいである。	2.2	5.9%	7.1%	25.3%	28.8%	32.9%	C

項目別で見ると、「学校は楽しい」において肯定的な回答(5～4)が61.9%(昨年度57.4%)となっており4.5%増加している。また、設問2は、今年度は平均で3.7(昨年3.6)であった。コロナ禍以前のように実施できたことが大きい。否定的な回答(2～1)が24.9%(昨年度24.9%)となっている。行事の精選や内容の見直しを図り、生徒の自主性や協調性、他者を思いやる取組にしていくことが重要である。特に設問4は、「あまり満足していない」「不満である」の合計は61.7%(昨年度66.9%)となっており唯一「C」である。施設の老朽化も要因の一つであるが、環境整備の改善のため今年度は、業者による配管清掃をおこなっているが、大きな改善には至っていない。また、自由記述にもトイレの整備を要望する声が多々見られる。

(2) 学習指導

全体的に肯定的な回答(1～2)が過半数以上を占めており、平均3.8である。

【表2】

学習指導	5	先生は、ICT機器を活用してわかりやすく興味関心が持てるように教え方を工夫している。	3.6	18.2%	38.2%	32.7%	6.9%	4.1%	B
	6	先生は、一方的な説明だけでなく生徒同士の話し合い活動や発表などの授業を行っている。	3.8	23.9%	42.2%	26.7%	4.7%	2.4%	B
	7	先生は、生徒の特徴を理解し個に応じた学習支援に努めている。	3.7	19.6%	38.2%	34.1%	5.3%	2.9%	B
	8	学校は、各種講座など資格取得に向けた取り組みを行っている。	4.0	30.8%	41.6%	23.5%	2.9%	1.2%	B

学習指導に関しては、生徒に対する学習意欲の涵養と多様な指導が共通理解のもと取り組まれている結果であると考えられる。生徒も教職員に対する信頼は高い。よって、その特性に応じた指導面での充実が今後も重要であり、求められる。

(3)進路指導

「進路指導」の質問項目は、昨年度とほぼ同様の結果である。(表3)

【表3】

進路指導	9	学校の授業や行事などは、将来に結び付く（役立つ）内容である。	3.8	21.8%	43.3%	28.8%	3.9%	2.2%	B
	10	学校は、進学や就職のための講座や面接指導が充実している。	3.9	26.1%	40.8%	29.6%	1.8%	1.6%	B
	11	先生は、将来の進路や働くことのことについて適切なアドバイスを行っている。	3.9	29.0%	39.0%	27.3%	3.1%	1.6%	B

「進路指導」については、すべてで評価「A」がつくようにするため、学校全体として生徒に対する進路意識の高揚を図る取組の充実・強化が不可欠である。特に入学時からの早期の進路指導を充実させ、規範意識を高めることができれば、生徒指導面での改善も期待できる。

(4)生活指導

生活指導に関する取組については、昨年同様高い評価を示している。(表4)

【表4】

生活指導	12	学校は、ルールやマナー・身なりに関する指導をきちんと行っている。	3.9	32.0%	37.3%	25.5%	3.5%	1.6%	B
	13	学校は、人権侵害防止に関する指導をきちんと行っている。	3.9	30.6%	35.7%	29.0%	2.9%	1.8%	B
	14	学校は、勤怠（遅刻・欠席・欠課）に関する指導をきちんと行っている。	4.1	39.2%	36.1%	21.2%	2.4%	1.0%	A
	15	学校は、飲酒・喫煙・薬物等に関する指導をきちんと行っている。	4.1	42.7%	31.6%	20.6%	3.7%	1.4%	A
	16	学校は、交通安全教育に関する指導をきちんと行っている。	4.1	37.3%	34.9%	25.1%	1.6%	1.0%	A

「生活指導」については、昨年度と同じ評価である。生活指導に関する生徒意識は、全体的に肯定的であると考えられる。

(5)特別活動

特別活動に関しては、全体として肯定的にとらえている。(表5)

【表5】

特別活動	17	ホームルーム活動は、クラスの仲間と協力して活発である。	3.9	33.3%	34.3%	26.1%	3.3%	3.1%	B
	18	部活動や生徒会活動が充実している。	3.9	28.8%	33.9%	32.4%	3.5%	1.4%	B

各学年・各学級がこれまで以上に創意工夫し、ホームルームの活性化に向け取り組んでいく必要がある。

(6)健康安全

健康安全に関する意識は平均で約 4.0(昨年 3.8)と全体として昨年度と比較して全ての項目で平均が1ポイント以上改善されており、高い傾向にある。(表6)

【表6】

健康 安全	19	先生は、生徒の悩み相談にのってくれる。	3.9	32.7%	30.4%	32.2%	2.7%	2.0%	B
	20	学校の保健室や教育相談室は利用しやすい。	4.1	44.9%	26.7%	24.7%	2.4%	1.2%	A
	21	学校は、いじめ防止や人権を尊重する講話などの取り組みを行っている。	3.9	29.0%	39.0%	27.3%	3.1%	1.6%	B
	22	学校は、日頃からいじめを相談しやすい雰囲気づくりやアンケート調査、声かけなどを行い、いじめの早期発見に努めている。	3.9	32.0%	37.3%	25.5%	3.5%	1.6%	B
	23	学校は、いじめが発生した場合、すぐに被害者を保護し、いじめの事実確認などいじめの解消に向けた対応を行っている。	3.9	30.6%	35.7%	29.0%	2.9%	1.8%	B
	24	学校は、火災や自然災害が発生した際の避難経路を知らせている。	4.1	39.2%	36.1%	21.2%	2.4%	1.0%	A

サポートルーム「まある」等、生徒の居場所づくりに重点を置いた環境整備、支援体制及び雰囲気づくりが生徒に浸透している結果だと考えられる。今後とも学校全体として心理的安全性の向上に努めた学校づくりに努めることを続けていくことが重要である。

【保護者アンケート】

(1)「A」評価について

昨年度は6つの質問で「A」評価をいただいている。(表7)

【表7】

項目	番号	質問項目	平均	5	4	3	2	1	評価
学習指導	8	学校は、各種講座など資格取得に向けた取り組みが行われている。	4.3	33.9%	57.6%	8.5%	0.0%	0.0%	A
進路指導	9	学校は、進路について必要な情報を十分に知らせている。	4.1	32.2%	44.1%	23.7%	0.0%	0.0%	A
	11	学校は、授業やインターンシップを通して、生徒の進路や働くことのことについて適切な助言が得られている。	4.0	28.8%	45.8%	23.7%	1.7%	0.0%	A
生活指導	16	学校は、交通安全教育に関する指導をきちんと行われている。	4.0	23.7%	57.6%	15.3%	1.7%	1.7%	A
特別活動	18	学校は、部活動や生徒会活動が盛んである。	4.0	28.8%	47.5%	22.0%	0.0%	1.7%	A
家庭地域との連携	25	学校は、広報誌やホームページ、メーリングサービスなどを活用した広報が充実している。	4.1	32.2%	47.5%	18.6%	1.7%	0.0%	A

昨年度の A 評価は、4つであった。今年度は進路(質問 11)と特別活動(質問 16)に関する評価が A になった。

質問8に関しては平均値が前年度と比較し 3 ポイントも改善している。また、同様に生徒も同じように平均 4.0(表2 質問8)と同じように高い。

質問 25 に関しては昨年同様高い平均値 4.1(昨年 4.2)になっており、今年度新たに SNS(Instagram)による情報発信も始めた。今後も保護者の皆さまにとって有意義な情報発信ツールを活用し、広報活動の充実に努めていきたい。

(2)その他(特出事項)

保護者アンケートの結果も、概ね、生徒アンケート同様な結果となっている。生徒アンケートの考察と同様な取り組みの充実強化を図る必要がある。(表8)

【表8】

学校運営	4	学校は、教室内外・トイレの掃除など、校内の環境美化・整備によく取り組んでいる。	3.3	22.0%	27.1%	27.1%	10.2%	13.6%	B
------	---	---	-----	-------	-------	-------	-------	-------	---

生徒アンケートにはない項目「家庭地域との連携」については、以下のとおりである。(表9. 一部再掲)

【表9】

家庭地域との連携	25	学校は、広報誌やホームページ、メーリングサービスなどを活用した広報が充実している。	4.1	30.6%	48.4%	19.4%	1.6%	0.0%	A
	26	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に取り組んでいる。	3.8	19.4%	48.4%	29.0%	1.6%	1.6%	B
	27	学校は、保護者や地域の要望に応えている。	3.7	17.7%	45.2%	30.6%	3.2%	3.2%	B

【教職員アンケート】

(1)「A」評価について

アンケート設問 29 問中平均4以上の A 評価となっているは9問(昨年6問)である。(表 10)

【表10】

学校運営	4	学校は、教室内外・トイレの掃除など、校内の環境美化・整備によく取り組んでいる。	4.0	24.4%	57.8%	13.3%	4.4%	0.0%	A
学習指導	5	学校は、ICT機器などを活用して、わかりやすく興味関心が持てるように教え方を工夫している。	4.0	20.0%	64.4%	15.6%	0.0%	0.0%	A
進路指導	9	学校は、進路について必要な情報を十分に知らせている。	4.2	31.1%	62.2%	6.7%	0.0%	0.0%	A
	10	学校は、進学や就職のための講座や面接指導が充実している。	4.0	24.4%	55.6%	20.0%	0.0%	0.0%	A
健康安全	19	学校は、親身になって生徒や保護者の悩み相談に応じている。	4.1	24.4%	60.0%	15.6%	0.0%	0.0%	A
	20	学校は、生徒の健康や安全管理に気を配っている。	4.0	17.8%	71.1%	6.7%	2.2%	2.2%	A
	21	学校は、いじめ防止や人権を尊重する講話などの取り組みが行われている。	4.1	28.9%	55.6%	11.1%	4.4%	0.0%	A
	22	学校は、日頃からいじめを相談しやすい雰囲気づくりやアンケート調査、声かけなどを行い、いじめの早期発見に努めている。	4.2	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	0.0%	A
家庭地域との連携	25	学校は、広報誌やホームページ、メーリングサービスなどを活用した広報が充実している。	4.1	35.6%	46.7%	13.3%	4.4%	0.0%	A

昨年度と比較して、学校運営に関する評価(質問4)、学習指導に関する評価(質問5)、進路指導に関する評価(質問9)が A 評価への改善されている。

特に学校運営に関する評価(質問4)においては、昨年度は C 評価から 1.1 ポイントの大きな改善が見られた。今年度から中商パワースポット化のスローガンのもと環境整備部を中心とした全職員の共通理解が進んだ結果だと考えられる。

学習指導の質問5において、生徒の評価平均は 3.6 であるのに対して教職員は 4.0 となっている。

進路指導においては、教職員と生徒の評価平均が同じように高評価であり、教職員の日頃の進路指導に対して理解していると考えられる。

(2) 昨年度より B から A への改善が見られた質問項目 (表 11)

【表 11】

学校運営	4	学校は、教室内外・トイレの掃除など、校内の環境美化・整備によく取り組んでいる。	4.0	24.4%	57.8%	13.3%	4.4%	0.0%	A
学習指導	5	学校は、ICT機器などを活用して、わかりやすく興味関心が持てるように教え方を工夫している。	4.0	20.0%	64.4%	15.6%	0.0%	0.0%	A
進路指導	9	学校は、進路について必要な情報を十分に知らせている。	4.2	31.1%	62.2%	6.7%	0.0%	0.0%	A
健康安全	19	学校は、親身になって生徒や保護者の悩み相談に応じている。	4.1	24.4%	60.0%	15.6%	0.0%	0.0%	A

今年度は、教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)における授業改善の推進、「中商パワースポット化」の取組み等、教職員の共通理解のもと行われた結果だと考えられる。

また、生徒相談や進路相談においてもジョブサポートティーチャー、特別支援員、外国語支援員等の多様な職員が組織的に対応していることが影響していると考えられる。

(3) 「C」評価について (表 12)

生活指導項目における質問 14 において昨年度の評価 B(3.0) から評価 C(2.98) となっている。

14	学校は、勤怠（遅刻・欠席・欠課）に関する指導をきちんと行われている。	2.98	2.2%	37.8%	33.3%	8.9%	17.8%	C
----	------------------------------------	------	------	-------	-------	------	-------	---

昨年度と同様、生徒指導に関しては、生徒支援システムの活用などにより、数値化により可視化されるため、お互いに厳しい評価になる傾向があると考えられる。また、組織としてより効果のある高い指導を求める意識が強い傾向があると考えられる。しかし、生徒及び保護者の生徒指導に関する意識は A 評価と高い。

(4) 「服務研修・衛生管理」について (表 13)

生徒・保護者アンケートにはない項目「服務研修・衛生管理」については、以下のとおりである。(表 13)

【表 13】

服務研修 衛生管理	28	学校は、法令遵守を含め職員の資質を高める職員研修の充実が図られている。	3.8	11.1%	66.7%	17.8%	2.2%	2.2%	B
	29	学校は、職員の健康管理について適切な助言や相談に取り組んでいる。	3.7	13.3%	55.6%	20.0%	8.9%	2.2%	B

いずれも昨年度と同等の結果となった。管理者は職員の健康管理だけではなく、ラインケアを十分に行う必要がある。

【総括】

「生活指導(5問)」の項目では、昨年と同様に教職員の満足度は評価の平均 3.4 と 8 項目の中で一番低い。しかし、生徒の評価の平均は、3.8 となっており、0.4 ポイントの差があり、5 問中 3 問で「A」となっている。指導に関して個業化傾向と負担意識があると考えられる。そのため、組織としてより効果のある指導を求める意識が強い傾向があると考えられる。

質問 4「学校は、教室内外・トイレの掃除など、校内の環境美化・整備に努めている」では、昨年同様、生徒・保護者・教職員ともに満足度が低い。業者を入れての施設のメンテナンスを行っているが、施設の老朽化が顕著である。職員からもトイレの便座を和式を様式にして欲しいとの意見もあるため、引き続き県へ要望していきたい。

教職員・生徒・保護者が一体となって知恵を出し合い、学校生活が充実し、生徒一人一人が 1 つでも多くの思い出が残る高校生活を送れるよう学校運営に取り組みたい。

四 学校関係者評価（自己評価に関する総括・指摘事項）

第3回学校評議員会において、学校評価（自己評価）の報告を行った後、学校評議員による学校関係者評価を実施した。

令和5年度第3回学校評議員会

- 日 時 令和6年2月19日 16時～17時
- 場 所 沖縄県立中部商業高等学校社会科教室
- 評議員
 - 川 根 茂 森 本校元校長（委任）
 - 仲 間 烈 同窓会代表 浦添市議会議員
 - 時 田 三千代 地域代表 本校元PTA会長
 - 島 袋 清 地域代表 我如古自治会長

(1) 学校生活・運営

校内美化は非常に大事なことです。生徒たちの清掃活動の充実が必要。洋式トイレ等への早急な改修ため学校側から要請を検討してください。

SNS等を活用した積極的な学校PRは素晴らしいです。様々な方法で志願倍率の向上に改善に努めて欲しい。

(2) 学習指導

学習面や勤怠面で頑張っている生徒から後輩に向けてメッセージを送ることで激励していくことができないか検討して欲しい。

企業との連携による商品開発の取り組みが学校の特色となっている。

(3) 進路指導

進路未決定者に対する指導を引き続き努めていただきたい。

生徒個々の進路希望に応じたきめ細かい指導に期待したい。普段からの指導をしっかりと継続させ、進路決定につなげてもらいたい。

(4) 生徒指導

欠席者数の改善など学校生活おける規範意識の徹底をお願いします。